



tonysame: × Morita Manabu by WOOD *UPCYCLE PROJECT*

2021年にメガネの廃材を用いたアップサイクルプロジェクトに取り組んだトニーセイムだが、
2022年は新進気鋭のアーティスト、Morita Manabu by WOODとタッグを組み、
さらに一歩踏み込んだコラボレーションを始動させるという。
今回は4月に開催されたMorita Manabu by WOODの個展会場で、
トニーセイムジャパン代表・細井礼さんとともにプロジェクトへの意気込みを伺った。

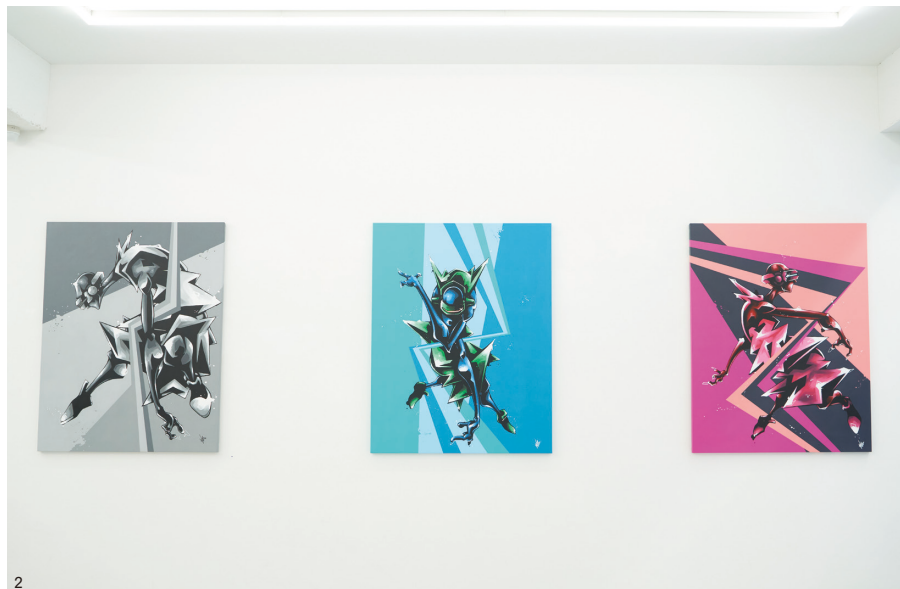
Photo: Kentaro Yamada Text: Natsue Ishikura
Special Thanks: Whitestone Gallery <https://www.whitestone-gallery.com>

廃材をアートに！注目のプロジェクト第2弾

鮮やかな色を纏ったアート作品が、真っ白なギャラリーの中で圧倒的な存在感を放つ。これらの作品を手がけたMorita Manabu by WOODは、2014年にRed Bullのクリエイティブを担当すると瞬く間に注目を集め、ストリートカルチャーの世界でもよく知られる存在となった。もともとグラフィティ（壁画アート）を得意としていた彼だが、ここ数年はキャンバスに絵を描くことが増えたそうで、今回の個展で披露された約50点の作品もすべて絵画だ。そして、もう1つ、彼を語る上で欠かせないのが、使用済みのスプレー缶を用いたオブジェだろう。彼の独特の世界観を表現したアートピースはいずれも、多くの人々を魅了させている。今回、トニーセイムがアップサイ

クルプロジェクト第2弾として彼を選んだのは、彼の作風に刺激を受けたことはもちろんだが、廃材を利用した作品づくりにも共鳴したからだ。また代表の細井さんと旧知の間柄だったというのも大きいだろう。今回のコラボついて、Morita Manabu by WOODは「デザインとディテールに定評のあるトニーセイムとのコラボはプレッシャーもあるけど、僕の世界観とうまく合体させてより多くの人たちに届くように精一杯取り組みたい」と意気込みを語る。一方、細井さんも「前回のプロジェクト終了後、お客様や取引先から好評いただいただけではなく、スタッフの意識に大きな変化が見られました。例えば、環境に優しい素材の使用を促したり、梱包材のリユースのアイデ

アを提案したり。こういう意識が芽生えたのもこのプロジェクトのおかげ。お客様はもちろん、スタッフも楽しみながらできるのがアップサイクルの魅力ですね」と振り返る。だからこそ、プロジェクト第2弾は前回よりもさらに一歩踏み込んだチャレンジをしたいそうだ。というのも、今回は不用となったメガネでオブジェを作るだけではなく、Morita Manabu by WOODとのコラボによる新たなコレクションも登場する。「僕らがこのプロジェクトで目指すのは、アイウェアブランドとアートを合わせることでより強いエネルギーを生み出し、新たな付加価値を提供することです」と細井さん。このプロジェクトの全貌が披露されるのは、2022年秋の予定。待望の新作に乞うご期待！



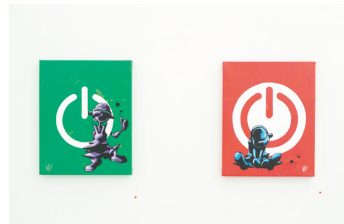
■ 今回の個展は、今後もさまざまな技法や画材、アイデアを取り入れながら、さらなる成長を約束するMorita Manabu by WOODの“今”を感じる場となった。■ 色鮮やかに表現されたキャラクターは“ミライくん”といい、サーバー上に生まれたAI（人工知能）だ。この3枚の絵には、人間の感情に興味津々のミライくんが想像する「無関心」「不安」「恐怖」がポップに表現されている。この絵を見て、細井さんは自身の今のマインドにとっても近いと感じたそうだ。「ビジネスに不安はつきものだけど、それでもポジティブに攻めていく姿勢は持っていたい。今回のコラボは、人間のさまざまな葛藤を内包しながらもポジティブさも感じられるものにしたい」と話す。■ “複製”をテーマに補色を組み合わせたシャドウシリーズ。彼独特の遊び心が随所に注がれている。



比類なき才能が新たな価値を創造する

Morita Manabu by WOOD

子どもころに始めたダンスを通じて、ストリートアートやグラフィティに影響を受ける。その後はペインターとして活動する一方、使い終わったスプレー缶などを用いたオブジェの制作も行う。2014年にRed Bullのクリエイティブを担当して以来、NIKEやatmosといったストリートカルチャーブランドから、MONCLER、Rolls-Royceなどのラグジュアリーブランドまで数多くのコラボレーションを展開。世界も注目する新進気鋭のアーティストである。
https://www.instagram.com/wood_dw/



■ 作品の中にはグラフィティを得意とする彼ならではの作品も展示された。■ 「SAND MASK II」と名付けられた立体アート。彼にかかれば、本来はごみとして捨てられるスプレー缶なども、力強く躍動感あふれるアートへと生まれ変わる。果たして、今回のトニーセイムとのコラボで、彼はどんなアートを作り出すのだろう。期待は高まるばかりだ。